



棚田百選「奥山田」(津幡町)



石川県農業会議だより

第352号 金沢市古府1丁目217番地 石川県農業会議 平成27年9月
電話 (076) 240-0540

- ☑ 農業者年金への加入を推進しよう
- ☑ 全国農業新聞・全国農業図書を講読しよう

▶ 農地パトロール出発式の能登会場では、中能登町農業委員会の森正会長が力強くガンバロー三唱の音頭をとった



石川県農業会議(山田修路会長)と市町農業委員会が8月6日

農地パトロール出発式ひらく 遊休農地解消へ団結!

(木)に能登地区で、同7日(金)に加賀地区で農地パトロールの出發式を実施した。

能登会場は中能登町のラピア鹿島で開かれ、同町の杉本栄蔵町長が参加した農業委員たちを激励した。農地パトロール用の三点セット(帽子、腕章、自動車用マグネット板)が同町の二宮文枝農業委員に授与された後、同委員が宣言文を朗読した。最後に森正奨同町農業委員会会長が力強くガンバローを三唱した。

加賀会場は翌日、能美市の寺井地区公民館で開かれた。同市の酒井悌次郎市長の激励あいさつの後、朝倉忍農業会議副会長がパトロール三点セットを同市の今川登美子農業委員へ授与した。今川委員が宣言文を朗読し、又村一夫同市農業委員会会長がガンバロー三唱を行い、パトロール活動の成果に向けて一致団結した。農業委員の日常活動が今後ますます重要になっていく中、今回の出發式を契機により一層の活躍と成果が期待される。

ます重要になっていく中、今回の出發式を契機により一層の活躍と成果が期待される。



▶ ガンバローを三唱する農業委員たち(加賀会場)

認定農業者等農業委員協議会 研修会ひらく

石川県農業会議

各農業委員会2名の担い手農業委員で組織する認定農業者等農業委員協議会（事務局は石川県農業教育センターで、翌18日に志賀町・いこいの村能登半島で今年度第1回の研修会を開いた。



▶ 加賀会場（6月17日）

研修テーマは「農業委員会法の改正に伴う内容と直近の状況」や「いしかわ農業委員活動1・1・1運動」の実績など。事務局が説明した後、①どのように農業委員に選出されたか、②農業委員として、しなければならぬ仕事とは何か、③普段どんな活動をしているのか、④農業委員数を現在の半数程度とし、市町村長が委員を任

農政情報

農業委員は任命制へ

石川県農業会議
事務局長 高瀬裕章

この「たより」が届く頃には、遅れていた農業委員会法改正案が成立しているのではないかと思えます。農協法の改正と併せ、法制定60年を過ぎたの農政の大転換であります。その内容は、以下のよ

命するという改正案をどう思うか、⑤農業委員会が農地利用最適化推進委員を委嘱することとなるが、どんな人がなると思われるか―などについて意見交換した。

加賀地区では、「農業委員は最低二期は継続しないとその活動の成果があがらないので、継続して務めたい」という意見が多かった。一方、能登地区では、「イノシシ等の鳥獣害対策や地境問題など、苦情やその対応に振り回されることが多い」、「高齢化が進み、農業委員が地域の雑多な事務相談を受けるため、できれば次は農業委員になりたくない」という意見も出された。

うなものです。

①農業委員は、公選制から市町長による任命制に、そして、定数も現在の半数になります。②さらに農業委員会は、新設の「農地利用最適化推進委員」を選任し、委嘱します。③農地転用許可の権限委譲が進み、また、県知事の県農業会議への諮問・答申は、市町農業委員会への意見・回答に変更になります。④全国農業会議所、都道府県農業会議は、農業委員会

◀ 能登会場（6月18日）



ネットワーク機構に指定され、一般社団法人へ移行する予定です。

また、法律の実務的な部分はわかりませんが、農業委員会は「農地の番人」であることはもちろん、各市町の農地の効率的な利用を先導する役割を担っていたことにあります。現在、農業委員の方は、任期満了まで引き続きご活躍・ご協力下さいますようお願い申し上げます。

農地の賃借料情報 (石川県)

平成27年6月現在

市町農業委員会が、毎年、農地賃借料の情報提供として、年間の平均をHPで公表しております。それらの県版として一覧にしたものです。

【田の部】

単位:円/10a

市町名	項目	平均値	項目	平均値		
金沢市	平坦地	13,500	山間地	9,900		
七尾市	旧七尾市	7,100	旧田鶴浜町	▽		
	旧中島町	6,000				
小松市	北部地区	10,700	東部地区	11,400		
	中部地区(平場)	9,100	中部地区(山手)	5,100		
	西部地区	15,900	南部地区	9,100		
輪島市	上田(基盤整備30a以上)	11,900	中田(基盤整備30未満)	8,400		
	下田(基盤整備10a未満)	4,700				
珠洲市	上田(30a以上基盤整備済)	10,200	中田(10a~30a基盤整備済)	10,100		
	下田(基盤整備10a未満)	6,550				
加賀市	圃場整備完了地区(平坦地)	11,000	圃場整備完了地区(中山間地)	10,000		
羽咋市	羽咋市平均	14,700				
かほく市	旧宇ノ気町(基盤整備地域)	13,300	旧宇ノ気町(未整備地域)	12,600		
白山市	松任地区(10a未満・10a以上)	4,000	▽	石川地区(10a未満・10a以上)	8,461	11,190
	柏野地区(10a未満・10a以上)	8,667	12,000	笠間地区(10a未満・10a以上)	7,846	12,507
	宮保地区(10a未満・10a以上)	7,427	12,375	一木地区(10a未満・10a以上)	6,129	12,022
	出城地区(10a未満・10a以上)	4,411	10,500	御手洗地区(10a未満・10a以上)	6,697	11,212
	旭地区(10a未満・10a以上)	4,658	13,482	中奥地区(10a未満・10a以上)	4,000	▽
	林中地区(10a未満・10a以上)	7,421	12,139	郷地区(10a未満・10a以上)	5,023	12,000
	山島地区(10a未満・10a以上)	7,050	11,433			
	美川地区(10a未満・10a以上)	▽	▽	蝶屋地区(10a未満・10a以上)	12,000	12,000
	湊地区(10a未満・10a以上)	▽	12,000			
	一ノ宮地区(10a未満・10a以上)	▽	▽	蔵山地区(10a未満・10a以上)	5,650	7,483
	林地区(10a未満・10a以上)	▽	▽	館畑地区(10a未満・10a以上)	7,407	10,567
	河内地区(10a未満・10a以上)	-	▽	鳥越地区(10a未満・10a以上)	4,007	5,854
	能美市	整備田	9,800	未整備田	3,000	
中山間地田		3,200	能美市平均	6,900		
野々市市	郷地区	10,984	富奥地区	8,636		
川北町	全域	10,940				
津幡町	平坦地	9,700	中山間地	4,200		
	志賀地域	8,000	富来地域	11,000		
志賀町	(志賀町平均)	9,500				
宝達志水町	上田(30a以上)	9,500	中田(10a~30a)	8,500		
	下田(10a未満)	7,000				
中能登町	基盤整備地域	8,500	未整備地域	8,000		
穴水町	旧穴水町(整備・未整備)	5,500	5,000	旧住吉村(整備・未整備)	6,000	-
	旧兜村(整備・未整備)	6,900	10,000	旧諸橋村(整備・未整備)	6,500	-
	(穴水全体)	6,200				
能登町	旧柳田村	6,100	旧内浦町	7,500		
	旧能都町	6,100	(町平均)	6,600		

【畑の部】

単位:円/10a

市町名	項目	平均値	項目	平均値
金沢市	砂丘地	24,000	その他	10,800
七尾市	旧七尾市	9,400	旧田鶴浜町	▽
	旧中島町	▽	旧能登島町	7,100
小松市	全体	8,500		
輪島市	普通畑(国営開発地)	2,000		
かほく市	旧高松町全域	▽	旧宇ノ気町全域	9,600
	かほく市平均	13,000		
津幡町	湖東	9,500		
内灘町	砂丘畑	20,500	干拓畑	9,300
穴水町	旧住吉村	3,500	旧兜村	4,800
	(穴水町平均)	4,600		
能登町	旧内浦町	6,800		

注) 標記金額は、市町が平成27年6月1日現在で公表している農地の賃借料情報である。

対象となるデータの集計期間は市町ごとに若干異なる場合があるので留意すること。

注) ▽印は対象となる集計データが極端に少ない(10件未満)理由から掲載しなかったものである。

(市町HPでは公表されている場合もある)。

珠洲市における参考賃借料

単位：円/10a

区分	平成27年度	算定方法など
上田	7,000円	水稲参考賃借料検討会が、農地の出し手、受け手からの聞き取りや意見を基に決定
中田	5,000円	
下田	3,000円	

珠洲市では、本年3月に、農業委員会が中心となり、賃借料の決定の参考として提供するものとして、「水田の参考賃借料」を公表した。

なお、同情報は、珠洲市水田参考賃借料検討会が決定し、実際の契約では当事者間で話し合っ決定するよう求めている。

石川県における農作業別・受託主体別部分農作業料金の推移

(個人農家)

単位：円/10a

項目	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
耕起～代かき	15,900	15,700	16,100	16,000	15,700	15,800	16,600	16,600
機械田植 (苗代別)	7,700	7,800	8,000	7,800	7,800	7,800	8,000	7,900
機械刈取 (コンバイン)	18,800	19,200	19,300	19,200	19,300	19,500	20,200	20,100

100円未満四捨五入

(生産組織等)

単位：円/10a

項目	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
耕起～代かき	15,100	14,700	13,900	15,600	15,000	15,200	16,000	15,800
機械田植 (苗代別)	7,300	6,900	7,100	7,400	7,300	7,600	8,100	8,200
機械刈取 (コンバイン)	18,500	18,000	18,400	18,400	18,500	19,300	20,200	20,300

100円未満四捨五入

注)上記の金額は、市町農業委員会から報告のあったものを平均したものである。市町村合併により近年はサンプル数が最大19件と少ないため、一部のわずかな変動で平均の増減に影響が出ている場合がある。

石川県における田畑の売買価格等に関する調査結果の推移 (全国農業会議所集計発表)

都市計画区域外市町村の農用地区域

(中田)

単位：千円/10a

年度	H5	H10	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
金額	2,223	2,039	1,613	1,383	1,215	1,241	1,364	1,378	1,378	1,346

(中畑)

単位：千円/10a

年度	H5	H10	H15	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
金額	976	988	827	743	744	755	818	818	798	793

注)上記、金額は実売買事例などを考慮して、農地を農地として売買する場合の中庸的な価格を農業委員(会)による見立てで報告されたものを集計したものである。



規模拡大を目指す担い手農業者や新規就農者が貸し付け希望のある農地を検索したり、集落や地域内の農地利用の調整や出し手の

掘り起こしの活用が期待されている「全国農地ナビ」が4月に稼働した。

平成26年4月に農地法が改正され、農地情報と地図を作成し、インターネットで公表することが農業委員会等に義務づけられた。その義務を全国一律で行うため、農水省と全国農業会議所が開発した農地情報公開システムの通称が「全国農地ナビ」だ。

農地ナビはインターネットを通じ、全国の市町村農業委員会等が保有する農地情報を地図上で閲覧できるシステムで、運営は全国農業会議所が行う。市街化区域内の農地情報は

公表されないが、それ以外の農地について、農地の所在、地番、地目のほか、耕作者整理番号、農地の権利関係、売りたい・貸したいといった所有者の意向、遊休農地かどうか、農地中間管理機構の権利取得状況などの農地情報が得られる画期的なシステムだ。ただし、所有者や耕作者の氏名など個人情報公表されてはいない。

これまで、各地の農業委員会に足を運び、窓口で問い合わせなければ、欲しい農地情報は得られなかった。この4月以降、誰でも無料で好きな時間に全国農地ナビにアクセスすれば、各種の農地情報が入手できるようになった。タブレットやスマートフォンでの閲覧も可能となっている。

閲覧するには「地図から探す方法」と「地目や必要面積など好みの条件で探す方法」の2つある。

そのほか地域農業を推進する際の活用例として、耕作者ごとに色分けした農地地図を集落の会合の際に持ち込み、農地の分散状況を視覚的に確認し、交換耕作など利用集積に役立つ資料としても活用できる。今後、さらなる農地情報の拡充も予定されており、期待が高まっている。

なお、全国農地ナビURLは <http://www.alis-ac.jp/>。各種の検索サイトで「全国農地ナビ」と検索すれば容易にアクセスできる。

全国の農地情報 ネット上で の公表がスタート

知りたい条件で探す場合、「農地中間管理機構が借り手・買い手を募集している農地」などの検索条件もさらに用意されている。

一筆の農地は地図上でそのおおよその中心の位置に「ピン」と呼ばれる○が表示されており、そのピンをクリックすると、農地の情報が表示される。また、地図上で「賃借権などの種類」や「遊休農地かどうか」などの条件で色分け表示や絞り込みも可能だ。適地が見つかれば、各地の農業委員会等の窓口で具体的な相談を行うこととなる。

耕作放棄地解消事例

株式会社J Aアグリ サポートかほく

かほく市と津幡町、内灘町をエリアとするJ A石川かほくでは耕作放棄地の増加に危機感を持ち、それを解消するため平成23年2

月、株式会社J Aアグリサポートかほくを設立した。

同J Aの井上信一組合長は津幡町農業委員会の会長職務代理を、また種本博専務はかほく市農業委員会の会長を務めている。この農業委員を兼務する役員の下、優秀な人材にも恵まれ、この4年間で対象地域（津幡町旧笠谷村）における耕作放棄地の38%に当たる

耕作放棄地 25ヘクタールを復元



耕作放棄地の抜根作業



条件不利地域での営農には苦勞がともなう

大好評!

農産物あてクイズ

— 女性農委ネット

女性農業委員ネットワーク石川（宮崎禮子代表・会員42名）が7月15日、金沢市で全体会議を開き、今年度の活動等を決めた。

同会が取り組む活動で、県民から大好評を得ている同会の活動がある。県が毎年秋に金沢市で開く農林漁業まつりで実施している「農産物あてクイズ」だ。全体会議では今年のクイズや景品に使う農産物の提供者や役割分担を決めた。



25 haを農地へ復元した。また、不耕作地になることが予想された19 haを借り受け、耕作放棄地発生を未然に防止している。

また、水稲では担い手組合員たちの生産調整が強化されないよう考慮し、主食用の水稲作付は行わず、飼料用米、大豆、そば等の作付けで対応している。さらに、飼料用米の粉碎加工業務を農協から受託するなど、経営の安定や継続に役立つ各種事業に取り組んでおり、地域になくってはならない会社